

はるか わたり歴史通信「悠」

わたりちょうりつきょうど しりょうかん
巨理町立郷土資料館

収蔵資料展開催中！

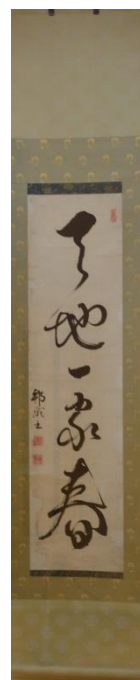
5月12日(日)まで、企画展示室で第26回収蔵資料展を開催しています。今回は令和2年度(2020年4月～2021年3月)に郷土資料館に寄贈された資料116点を展示しています。衣食住に関わるものや、教科書・卒業アルバムといった当時の暮らしを伝えるもののほか、江戸時代に巨理を治めた巨理伊達家に関するものなど、さまざまな資料を展示しています。今回は、その中から1点紹介します。

【伊達邦成書掛軸】

巨理伊達家15代当主・伊達邦成(1841-1904)の書です。邦成は、巨理伊達家の当主としては最後の巨理領主(巨理の地を治める者)にあたります。慶応4年/明治元年(1868)に起こった戊辰戦争の敗北後に家臣と共に北海道に渡り、現在の北海道伊達市の基礎を築いたことで知られています。

明治25年(1892)、邦成は開拓の功績が認められて「男爵」の位を授かりました。この書はその際に邦成が書いたと伝わっていて、「天地一家春」と書かれています。戊辰戦争に敗れたことで付けられた「逆賊」の汚名を晴らせた喜びが込められているのではないのでしょうか。

収蔵資料展はゴールデンウィーク中もご覧になれますので、伊達邦成に興味を持った方はぜひ足をお運びください！



GW は郷土資料館へ Go !

ゴールデンウィーク期間中の5月3日(金)から5日(日)までを開館し、紙甲冑を試着しての写真撮影やレコード鑑賞、ぬり絵やチャレンジクイズなどさまざまなコーナーを置きます。また、伊達邦成を題材にしたマンガを読むこともできます。体験をとおして巨理の歴史や文化に触れてみてください！

※紙甲冑やレコードの詳しい時間帯については、最後のページの「郷土資料館イベント情報」をご覧ください。



開催イベントはこちら♪

- 紙甲冑を着てみよう！ 
- 昔のレコードを聴こう 
- ぬり絵をやってみよう！ 
- チャレンジクイズ 

次号の「わたり歴史通信『悠』」は、7月に発行する予定です。
郷土資料館、図書館、各公共施設の窓口にご覧ください。

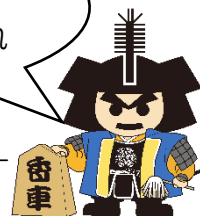
『成実記』が刊行されます

第167号では『成実記』について紹介しました。仙台藩初代藩主伊達政宗(1567-1636)の功績について伊達成実(1568-1646)がまとめたとされている記録書で、いくつかの系統に分かれていて、表題も『政宗(正宗)記』『伊達日記』『政宗公御軍記』などいくつか確認されています。政宗の動向を知る貴重な資料なのですが、『成実記』を活字化した本はいずれも絶版・品切れとなり、今では入手が難しい状況です。

そこで、成実が遺した記録を多くの方に知ってもらおうべく、今年『巨理町史資料編 第3集 成実記・政宗記』を刊行します。刊行された際には、お手にとっていただけると嬉しいです。また、今年度の特集として、『成実記』の内容や文中に書かれている成実の活躍について全4回にわたり紹介します。

特集記事を
ぜひご覧ください

郷土資料館
マスコットキャラクター
しげざねくん



『成実記』を読んでみよう！(1)

『成実記』特集の第1回目は、天正12年(1584)の伊達政宗の家督相続から、天正16年(1588)に起こった大崎合戦までの伊達家の動きについて紹介します。

※内容は『正宗記』(巨理町立郷土資料館所蔵)を参考にしています。

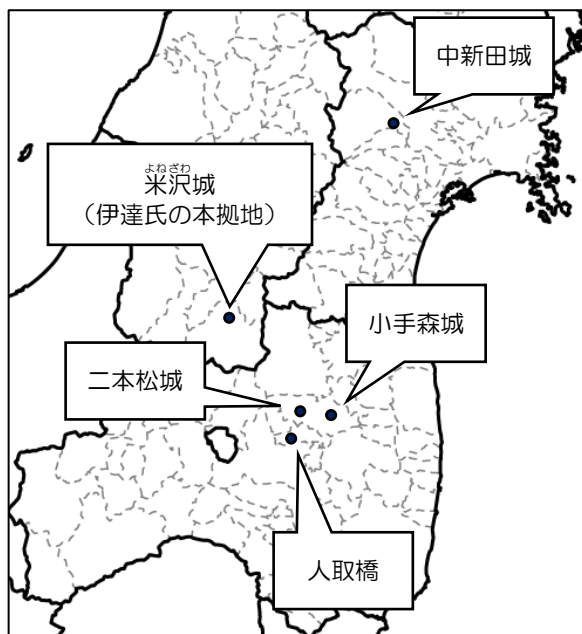
伊達政宗の戦い

『成実記』は、天正12年10月、18歳の伊達政宗が父輝宗(1544-1584)から伊達家当主の座を譲られたころから始まります。天正13年、政宗は伊達家奉公の約束を反故にした大内定綱の小手森城(二本松市)を攻め、城にいた人々を皆殺しにします。この様子を見て二本松城主の二本松義継は伊達家に和平を申し出ますが、後日挨拶に対応した輝宗を拉致して逃走したため、政宗は義継と共に父を殺害するという悲劇に見舞われました。

輝宗の法要を済ませた政宗は、弔い合戦として二本松城を攻めますが、二本松救援のために駆け付けた佐竹氏(水戸)・蘆名氏(会津)率いる連合軍に敗れ危機的な状況に陥りました(人取橋の戦い)。このとき伊達成実や鬼庭左月斎の奮戦もあり、政宗は逃げ延びることに成功しました。

天正14年、政宗は再び二本松城を包囲し、相馬氏の仲介により二本松氏は城を明け渡しました。二本松城の新たな城主には成実が任じられました。

天正16年、大崎地方(現大崎市・色麻町・加美町・涌谷町・美里町)領主の大崎氏内部で家臣同士の対立が起きます。大崎氏重臣から援軍を求められた政宗は、対立の平定を名目に兵を派遣し、大崎氏の居城の一つ中新田城(加美町)を攻めます。しかし、大崎氏の抵抗を受けて敗走し、最上義光(山形城主、政宗の伯父)が大崎救援のため伊達領を攻略するなど、義姫(政宗の母、義光の妹)が和睦を仲介するまで苦しい展開が続きました(大崎合戦)。



▲現在の山形県・宮城県・福島県における各地の城などの位置

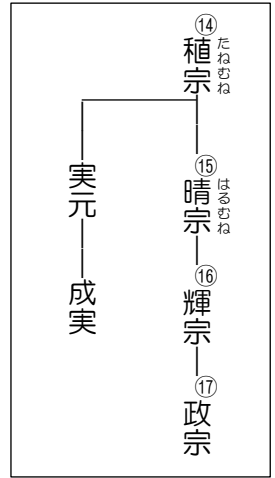
伊達成実の活躍（1）

さて、『成実記』をとおして、天正12年(1584)から天正16年(1588)までの伊達家の動きを追いましたが、こちらではその間の伊達成実の様子に注目します。

目の前で起こった悲劇

小手森城の皆殺しを知った二本松義継が伊達家に和平を申し出たとき、義継が最初に頼ったのが八丁目城(福島市)主の伊達実元でした。実元は成実の父であり、政宗にとっては大叔父(祖父の弟)にあたります。実元から報告を受けた輝宗は、義継との交渉の使者に成実を命じました。成実は「若輩者の自分には荷が重い」として辞退しようとはしますが、輝宗に押し切られるかたちで義継と会談しました。

和平の交渉がまとまった義継は、宮森城(二本松市)にいた輝宗に挨拶のため参上します。しかし、義継は輝宗を拉致すると、家臣と共に二本松城へ逃走します。その場には成実や留守政景(輝宗の弟)が同席していましたが、突然のことで手出しできず、懸命に後を追うも輝宗は義継もろとも伊達軍兵士に射殺されました。



▲伊達家略系図
※名前右上の数字は伊達家当主の代数

奮戦！人取橋

輝宗の弔い合戦として、義継の息子が籠る二本松城を攻めた政宗ですが、佐竹氏や蘆名氏率いる連合軍に敗れ、鬼庭左月斎らが戦死しました。成実の陣でも、味方が崩れたことを知った家臣の下郡山内記が逃げるよう勧めますが、成実は「ここで討死するのが本望だ(『愛にて打死仕るべき』)」と退却せず、伊達軍が総崩れとなる中、孤軍奮闘し連合軍を退けました。まさに、前立の毛虫のように一歩も引かない活躍でした。

逃げ延びた政宗は成実の活躍に感激したようで、自筆の感謝状を使者に持たせ成実の陣に送りました。使者には「今日の働きは素晴らしいものであった(『今日の扱比類無く候』)」 「そなたの活躍があったからこそ、多くの味方が助かった(『其方故に大勢の者共相助かり候』)」などと伝言させていたようです。なお、そのときの感謝状は現在も残っています(北海道伊達市教育委員会所蔵)。

三十三間堂官衙遺跡トピック vol1



今号から、国史跡三十三間堂官衙遺跡の整備の様子や、豆知識などをお知らせしていきます。

この遺跡は、平安時代前半頃の郡役所「陸奥国日理郡衙」跡で、JR常磐線逢隈駅西の丘陵(逢隈下郡椿山)にあります。史跡の南側で当時の米蔵が並んでいた正倉院等エリアの保存

整備事業を令和4年度から開始しました。史跡内にはスギヤクリ、ナラ、サクラなど様々な木が生えていますが、今年3月までに枯木などの間伐を行って見通しを良くしました。

今後は、倉庫跡の礎石をわかりやすくご覧いただけるよう整備する予定です。整備はまだ始まったばかりですが、草花や鳥など自然豊かな史跡を散策してみたいかがでしょうか。



▲間伐作業の様子

4月～6月の郷土資料館イベント情報



🌸 ~5/12【第26回収蔵資料展】

🌸 4/13・14、5/11・12、6/8・9【わたり復興の歩み上映会】

東日本大震災からの巨理町復興の様子を映像にまとめた「わたり復興の歩み」の上映会を、毎月第二土曜日と翌日曜日に開催いたします（9時から16時30分まで 約16分間）。震災写真とあわせてご覧ください。

🌸 5/3～5【GWは郷土資料館へGo!】

- 紙甲冑を着てみよう! : 5/4・5 受付10:00～11:30、13:30～15:00(全8回、各回30分、各回先着4人)
- 昔のレコードを聴こう : 5/3～5 5/3→10:10～10:30、13:00～13:30、15:00～15:30(解説付き体験会) 5/4・5→9:00～16:30(視聴のみ、11:00～13:00を除く)

🌸 6/1～30【巨理町立図書館・郷土資料館開館30周年記念合同企画

「巨理町出身 詩人 菅原克己を知る・読む・聴く」

巨理町出身の詩人菅原克己について、図書館所蔵の生原稿を中心に展示を行い、日本を代表する抒情詩人として活躍した軌跡を紹介します。

🌸 6/22【文化財めぐり「成実ウォークinわたり」】

奥州・仙台 おもてなし集団 伊達武将隊の伊達成実さんや郷土資料館学芸員と一緒に巨理の町中をめぐり、江戸時代の城下町の名残を探ります。

※詳しくは町HP・LINE・広報でお知らせします

来館者報告

常設展

R6.1.5～3.31

- 開館日数…65日間
- 観覧者数…2,056人(1日平均32人)

第26回収蔵資料展

R5.2.24～3.31

- 開館日数…30日間
- 観覧者数…1,084人(1日平均37人)

令和5年度 郷土資料館観覧者数

- ◎開館日数…286日間(R5.4.1～R6.3.31) 開館からの総観覧者数は241,273人です。
- ◎観覧者数…16,159人(1日平均37人) これからもみなさまのご来館をお待ちしています!

🌸🌸🌸🌸🌸 おわりに🌸🌸🌸🌸🌸

みなさん、本紙を手に取り「何かいつもと違う!？」と驚かれたのではないのでしょうか。このたび、郷土資料館開館30周年を記念して、表題を『郷土しりょうかん』から『わたり歴史通信「悠」』に改め、紙面も大幅にリニューアルいたしました。

読み物としての内容を充実させ、引き続きイベントなどをご案内します。今年度は『成実記』や三十三間堂官衙遺跡、展示資料などの紹介を盛り沢山でお届けできればと思いますので、これからもぜひお手にとってご覧ください!

巨理町立郷土資料館利用案内

〒989-2351 宮城県巨理郡巨理町字西郷140

Tel : 0223-34-8701 E-mail : kyoudo@town.watari.miyagi.jp

*開館時間 9:00～16:30(入館は16:00まで) *観覧料: 無料 ※特別展等有料の場合あり

